

自治会	自治会名	小牧自治会						
	自治会 拠点住所	上田市小牧624-1小牧会館						
	URL	なし						
	拠点施設名 ※公民館、 自治会館など	小牧会館						
	世帯数 該当世帯数に○印	50未満	100以下	250以下	500以下	750以下	1,000以下	1,000以上
			○					
自治会の紹介 位置や沿革、 成り立ち、 昔話など	<p>○小牧自治会は江戸時代の小牧村の村域とほぼ一致しており、小牧山を背に東は尾野山と山沢を境に接し、西は諏訪形と接している。また、区内には小牧山から六つの沢が流れている。東から城の沢、六句沢、住吉沢、木戸沢、添木沢、初太郎沢である。千曲川右岸とは常田新橋、小牧橋で通じている。</p> <p>○小牧の主な歴史</p> <p>①小牧の名称 小牧の名称がみられる一番古い史料は、天正6年の上諏訪神社造宮清書帳に「二之御 小県之郷 小槇之郷 一貫四百文」と記載され、小牧も造宮料を負担したことがわかる。</p> <p>②小牧図書館 明治40年に日露戦争に従軍した10名の村民の提唱により小牧区共立普通図書館として小牧集会所の一室で創立し、昭和12年に図書館が新築され、52年に改修工事が行われた。本の貸出は昭和40年代に行われなくなり、現在、建物は小牧会館分館として、城南公民館小牧分館が使用しています。</p> <p>③小牧城址公園 小牧城は小牧山の北方一支脈の端に築かれた山城で、上ノ城と下ノ城に別れ、下ノ城の最も高い場所に縦12m、横10m程の本丸があった。大正5年に小牧青年会はこの城址を顕彰保存しようと、城下村、神川村等の有志者の助力を得て、小牧城山公園を造った。同青年会は、城下消防組の協力で、当時城郭研究の第一人者の大類伸博士の撰に成る「小牧城址記」の碑を建て、四阿を造り、花樹を植え、登山道を整備した。現在も自治会として登山道整備と小牧城山公園の草刈等の整備を毎年行っている。</p> <p>④小牧上水道 大正12年5月から給水が始まる。</p> <p>⑤小牧共同浴場</p>							

	<p>昭和3年に小牧共同浴場ができ、浴場組合には区民の3分の2が加入し、利用していた。時代の変化とともに各戸に内風呂が増え、昭和53年に惜しまれながら解体された。</p> <p>⑥新橋の開通</p> <p>昭和60年に小牧橋が開通し、61年から丸子線が共用開始となり、平成11年には常田新橋が開通し、上田駅など市街へのアクセスも良くなりそれまでは行き止まりであった小牧も便利になった。</p>
<p>組 織 個人名を含まない 組織図など</p>	<p>26隣組制</p> <p>役員 自治会長、副自治会長、会計、各部正副部長12名、会計監査2名</p> <p>協議員会 自治会長、副自治会長、会計、各部正副部長15名で協議員会を構成し、会務について協議する。</p> <p>定期総会毎年1月開催 隣組長会毎月定例で開催</p>
<p>主な行事</p>	<p>新年会、尚齒会、ふるさと祭り、小牧城址公園登山道整備と小牧城山公園の草刈、四箇牧神社境内草刈・清掃、防災に関する訓練等</p> <p>ふれあい茶話会、ふれあい昼食会</p>
<p>第一次 避難場所</p>	<p>施設名 小牧会館 住 所 上田市小牧624-1</p> <p>その他自治会で指定された施設の施設名、住所</p>
<p>防犯・防災</p>	<p>管轄消防団：第6分団</p>
<p>安 全 安協のとりくみなど</p>	
<p>環 境 資源回収情報など</p>	
<p>そ の 他 分館・育成会・消防・敬老会・AED設置場所など</p>	<p>○城南公民館小牧分館；分館長、副分館長、主事、青少年育成推進指導員、人権教育推進員、婦人部長 分館は小牧生活改善員会も兼ねる。</p> <p>○小牧社会福祉協議会 ○育成会 ○小中PTA小牧支部、○万年青クラブ</p>